

事務事業名		病院職員給与支払事務		事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野邦彦		担当者名内線番号	江崎健一 内線 (531)			
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	1	(収益的)	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展									

法令根拠

—

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

病院職員の給与実態の把握、異動の管理、支給事務、支給明細の配布を行う。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 給与支払事務	式
②	
③	

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

病院職員



6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 職員数	人
②	
③	

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

適正な給与環境



7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 正職員給与費の医業収益割合	%
②	
③	

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

地域における一定の急性期・慢性期患者等に対応できる1. 5次の医療を提供する。



8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	1,597,987,706	1,579,314,267	1,691,007	1,691,007			
	事業費計(A)	円	1,597,987,706	1,579,314,267	1,691,007	1,691,007			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
	人工数(業務量)	年間	0.3272	0.3944					
人 件 費	人件費計(B)	円	2,657,898	3,249,687					
	トータルコスト(A)+(B)	円	1,600,645,604	1,582,563,954	1,691,007	1,691,007			
活動指標		(1) 式	1	1	1	1	1		
対象指標		(1) 人	125	133	133	133			
成果指標		(1) %	65.9	69.7	64.0	62.5			
上位成果指標		(1) %	36.7	42.5	50.0	55.0			

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

病院開設時から職員管理と併せて開始した。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

病院開設時から比べると診療科も増え、職員数も増えている。

事務事業名	病院職員給与支払事務	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない		

この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか 地域医療を担う機関として重要である	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか 適正な給与の支給(人事院勧告等)、人員配置に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか 人事院勧告によるところが大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか 地域医療を提供するためには医療スタッフの充実が必要不可欠であり、類似事業はない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか 地域医療を提供するためには医療スタッフの充実が必要不可欠であり、給与体系は人事院勧告によるところが大きい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか 条例・規則に基づき支給している。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

28年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性			
		現状維持		現状維持	
	人事院勧告に基づく、給与改定 不足する臨時職員(介護員・看護助手・調理員等)の確保及び待遇等の改善	2.改革・改善による期待成果			
			コスト		
			削減	維持	増加
		△			
		向上			
		成果維持		○	
		低下			
29年度以降の取組	人事院勧告の動向及び臨時職員の賃金動向に注視する				

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 17 日

事務事業名		病院職員任免事務		事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	—			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕

職員の採用に伴う募集・面接試験・採用手続及び退職に伴う手続き等、病院職員全般の任免事務

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

より良い地域医療を提供するためには医療スタッフの充実が必要不可欠であることから、優秀な職員の確保に向け、採用試験等に工夫を行う。

内訳		単位	27年度 (実績)		28年度 (実績)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国・道支出金	円				
	地方債	円				
	その他(使用料等)	円				
	一般財源	円				
	事業費計(A)	円	0	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.1613	0.0484		
	人件費計(B)	円	1,310,266	398,795		
	トータルコスト(A)+(B)	円	1,310,266	398,795		0

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 18 日

事務事業名		全国自治体病院協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立茅室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	植田 尚恵	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立茅室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				

〔事業の概要〕

全国自治体病院協議会総会への参加。
経営種別・病院種別の特別部会への参加。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

-

内訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	268,429	158,429	163,000
	事業費計(A)	円	268,429	158,429	163,000
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0040	0.0003	
	人件費計(B)	円	32,493	2,472	
	トータルコスト(A)+(B)	円	300,922	160,901	163,000

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 18 日

事務事業名		北海道国保診療施設協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	植田 尚恵	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業				
		<input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				

〔事業の概要〕

学会・研究会・研修会、現地研究会への参加。
地域包括ケア研修会への参加。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

-

内訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	307,500	307,500	308,000
	事業費計(A)	円	307,500	307,500	308,000
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0007	0.0002	
	人件費計(B)	円	5,686	1,648	
	トータルコスト(A)+(B)	円	313,186	309,148	308,000

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 18 日

事務事業名		十勝町村立診療施設協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	植田 尚恵	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

〔事業の概要〕

十勝町村における医療事業の調査研究と職員研修への参加。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

-

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
投 入 量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	15,000	15,000	10,000
	事業費計(A)	円	15,000	15,000	10,000
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0006	0.0003	
	人件費計(B)	円	4,874	2,472	
	トータルコスト(A)+(B)	円	19,874	17,472	10,000

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 18 日

事務事業名		病院職員健康診断事務		事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	植田 尚恵	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

〔事業の概要〕

病院職員の定期的な健康診断の実施。
B型、C型肝炎検査、MRSA検査、総合健診の実施。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

-

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
投 入 量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0285	0.0220	
	人件費計(B)	円	231,510	181,271	
	トータルコスト(A)+(B)	円	231,510	181,271	0

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 18 日

事務事業名	北海道自治体病院開設者協議会参画事業			事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 11 年度から 年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	植田 尚恵	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

〔事業の概要〕

地域ブロック内の国保の自治体病院開設者との意見交換会の実施。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

-

内訳		単位	27年度 (実績)		28年度 (実績)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国・道支出金	円				
	地方債	円				
	その他(使用料等)	円				
	一般財源	円	0	0	0	
	事業費計(A)	円	0	0	0	
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	
	人工数(業務量)	年間	0.0014	0.0002		
	人件費計(B)	円	11,372	1,648		
	トータルコスト(A)+(B)	円	11,372	1,648		0

事務事業名		病院運営委員会開催事業			事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 58 年度から年度まで	
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦			担当者名内線番号	佐藤 文彦 内線(531)		
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	2	5	(収益的)	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展									

法令根拠

-

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

運営委員会を開催し、前年度決算状況、当年度の収入状況の報告、新年度の予算・主要事業・診療体制について協議を行う。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

委員(市民)

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

病院経営状況を理解し、住民が求める医療環境づくりのための意見や要望等をだしてもらう。

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

地域における一定の急性期、慢性期患者等に対応できる、1.5次の医療を提供する。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 開催数	回
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 委員数	人
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 経営損益	千円
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	60,466	67,362	86,000	86,000			
	事業費計(A)	円	60,466	67,362	86,000	86,000			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
	人工数(業務量)	年間	0.0147	0.0143					
	人件費計(B)	円	119,410	117,826					
トータルコスト(A)+(B)		円	179,876	185,188	86,000	86,000			
活動指標		(1) 回	2	2	2	2			
対象指標		(1) 人	12	12	12	12			
成果指標		(1) 千円	(131,004)	(232,707)	0	0			
上位成果指標		(1) %	36.7	42.5	50.0	55.0			
		(2)							
		(3)							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

昭和58年度に、病院の運営費についての諮問機関として発足した。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

発足当時から比べると、診療科も増え、経営規模も大きくなっている。

事務事業名	病院運営委員会開催事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇市民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.市民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】		<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない	

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 公立茅室病院は、地域医療を担う医療機関として重要である。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 委員人数は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 病院事業の経常損益は診療報酬によるところが非常に大きいので、簡単に成果の向上は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 病院経営については、住民の意向を聞き、検討する場が必要である。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 運営委員会開催に必要な経費のみであるため、削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

改革・改善の部(Plan) / 上記の町民等の意見・要望に対する検討結果を又(29年度以降)の計画		改革・改善実施の方向性				
28 年度 の取 組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		現状維持			
			2.改革・改善による期待成果			
				コスト		
	新・改革プランの案を策定し、委員に説明			削減	維持	増加
			向上			
			維持	○		
			低下			
29 年度 以降 の取 組	新・改革プランに基づく検証、改革を推進する。 運営委員等の意見を参考に、公立病院としての方向性、あり方を隨時検証する。	※町民等の意見・要望に対する検討結果				

事務事業名		病院施設維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業		開始年度事業期間	昭和 41 年度から年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係		課長名	大野 邦彦		担当者名内線番号	渡辺 雅俊 内線(531)			
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			会計区分 予算科目	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	(収益的)	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				病院事業	1	1	(資本的)	

法令根拠

-

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

管理棟・外来棟・病院敷地・病院駐車場の維持管理

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 病院数	か所
②	
③	

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

病院施設

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 診療科	科
②	
③	

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の健康予防・治療のための施設

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 医師数	人
② 病床数	床
③	

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

地域医療の核となる施設として多くの利用を図る

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	105,795,851	105,195,316	112,809,000	112,809,000			
	事業費計(A)	円	105,795,851	105,195,316	112,809,000	112,809,000			
	正職員従事人数	人							
	人工数(業務量)	年間	0.5879	0.4367					
人 件 費	人件費計(B)	円	4,775,606	3,598,221					
	トータルコスト(A)+(B)	円	110,571,457	108,793,537	112,809,000	112,809,000			
活動指標		(1) か所	1	1	1	1			
		(2)							
		(3)							
対象指標		(1) 科	11	11	11	11			
		(2)							
		(3)							
成果指標		(1) 人	15	16	16	16			
		(2) 床	150	150	150	150			
		(3)							
上位成果指標		(1) %	36.7	42.5	50.0	55.0			
		(2)							
		(3)							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

町民の健康と予防・治療のための病院施設の維持・管理を行うため

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

安定した病院運営のための施設の維持・管理(施設・設備の老朽化への対策)

事務事業名	病院施設維持管理事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない		

この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 安心して暮らしていくため生活環境づくりのため必要である。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 現状の規模が適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 更新工事及び修繕等で対応するが、建設してから年数も経過しており当面は現状維持。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 総合的な診断・治療は地域医療の核として必要な施設で、町内に類似施設は無い為。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 医療水準の確保が不可欠であることから、一定の事業費を確保していく必要があり、事業費の削減は、提供するサービスの質を保つことのできない為。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

28年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性			
		現状維持	現状維持	2.改革・改善による期待成果	
28年度の取組	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的に建物、設備等の維持修繕を実施し、既存建物の長寿命化に努める。また、外壁補修や水回り等の更新に当たっては、医業収支に注視しながら計画的に更新していくこととするが、将来収支計画の展望によっては一般会計からの出資を受け、安定した病院経営体制を構築する。			コスト	
				削減	維持
				向上	○
				維持	
				低下	
29年度以降の取組	公立芽室病院の改築から25年以上経過していることから、施設・設備・備品等購入計画に基づき、施設整備を進めるが、状況に応じ変更する。(優先順位の変更又は、緊急を要する場合は直ちに施設整備を行う。) 今後、現施設を20年～30年程度使用していくために、今後に大規模な改修工事が必要になる。				

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		職員会館維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 63 年度から年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦		担当者名内線番号	渡辺 雅俊 内線(531)			
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	2	(資本的)	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展									

法令根拠

-

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

職員会館の維持管理

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

職員会館施設

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

出張医や研修医の宿泊施設の提供と院内保育事業

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

地域医療の核となる病院の医師及び看護師等の確保を図る

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 職員会館数	か所
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 部屋数	部屋
② (医師等宿泊9室・院内保育1室・計10室)	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 出張医師等利用人数	人
② 院内保育利用人数	人
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	320,760	309,204	1,440,000	1,440,000			
	事業費計(A)	円	320,760	309,204	1,440,000	1,440,000			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
	人工数(業務量)	年間	0.0485	0.0854					
人 件 費	人件費計(B)	円	393,973	703,659					
	トータルコスト(A)+(B)	円	714,733	1,012,863	1,440,000	1,440,000			
活動指標	(1) か所		1	1	1	1			
	(2)								
	(3)								
対象指標	(1) 部屋		10	10	10	10			
	(2)								
	(3)								
成果指標	(1) 人		612	545	500	500			
	(2) 人		827	393	700	700			
	(3)								
上位成果指標	(1) %		36.7	42.5	50.0	55.0			
	(2)								
	(3)								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

町民の健康と予防・治療のための医師及び看護師等確保のため

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)
安定した病院運営(医師及び看護師等確保)のため、出張医、研修医等に良好な宿泊を提供すること及び院内保育を行うため、施設の維持管理(老朽化の対策)を図る。

事務事業名	職員会館維持管理事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない		

この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 出張医師、研修医、実習生の受け入れ体制確保及び院内保育体制確保のため必要である。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 現状の規模が適切である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 建設から年数もかなり経過していることから、修繕等を行い現状体制の維持を行う	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 本来、病院内に宿泊施設があると望ましいが、これ以上離れた場合は医療体制に影響がでるため必要な施設である。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 医師の確保、医療水準の確保が不可欠であることから、事業費の削減余地はない。また、院内保育については今後の動向を踏まえ検討が必要になる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

28年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 大規模な施設修繕は予定しておらず、当面は現状の維持管理に努める。	改革・改善実施の方向性			
		現状維持		現状維持	
		2.改革・改善による期待成果			
			コスト		
			削減	維持	増加
		△			
		向上			
		成果維持		○	
		低下			
29年度以降の取組	職員会館が築38年を経過していることから、今後、施設の継続、あり方を含め検討する必要がある。				
※町民等の意見・要望に対する検討結果					

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 19 日

事務事業名		医師住宅維持管理事業		事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 41 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	渡辺 雅俊	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

〔事業の概要〕

医師住宅の維持管理

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

診療科と医師の確保により、町民の健康推進と病気の予防・治療の充実を図る。

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)
投 入 量	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0132	0.0781	
	人件費計(B)	円	107,226	643,511	
	トータルコスト(A)+(B)	円	107,226	643,511	0

平成 29 年度

**事務事業マネジメントシート
(簡易シート)**

作成日 平成 29 年 4 月 19 日

事務事業名		防災等安全管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 63 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	渡辺 雅俊	内線 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

〔事業の概要〕

病理等・外来棟・病棟・病院敷地・病院駐車場の安全管理。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性

現状維持

建物条件による限界時間を取り入れた避難訓練を実施し、患者の安全対策の向上を図る。なお、平成25度には停電対応マニュアルを作成・配布し、一層の危機回避に努めている。

内訳		単位	27年度 (実績)		28年度 (実績)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国・道支出金	円				
	地方債	円				
	その他(使用料等)	円				
	一般財源	円				
	事業費計(A)	円	0	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0269	0.0243		
	人件費計(B)	円	218,513	200,222		
	トータルコスト(A)+(B)	円	218,513	200,222		0

事務事業名		医療業務用品購入事業			事務事業の性格	毎年繰返事業		開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野邦彦		担当者名内線番号	佐藤文彦 内線(531)			
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	3	収益的	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				病院事業	1	1	6	収益的	
法令根拠		-									

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

医療機器安全管理委員会で検討し購入、あわせて保守管理も進めていく。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

外来患者・入院患者

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

外来患者・入院患者が、機器を使用し、より良い処置・治療・手術・検査等を受けることが出来る。

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

外来患者・入院患者が、検査結果を知ることが出来、また病気の治癒につなげることが出来る。また病気が発見された時は、治療につながる。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 医療機器の金額	円
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 年間入院患者数	人
② 年間外来患者数	人
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 入院患者数前年対比	%
② 外来患者数前年対比	%
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	49,115,151	50,331,633	56,475,000	56,475,000			
	事業費計(A)	円	49,115,151	50,331,633	56,475,000	56,475,000			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
	人工数(業務量)	年間	0.3155	0.2115					
人 件 費	人件費計(B)	円	2,562,857	1,742,669					
	トータルコスト(A)+(B)	円	51,678,008	52,074,302	56,475,000	56,475,000			
活動指標		(1) 円	49,115,151	50,331,633	56,475,000	56,475,000			
(2)									
(3)									
対象指標		(1) 人	33,669	34,616	40,187	40,187			
(2) 人			82,314	78,876	85,279	85,279			
(3)									
成果指標		(1) %	(18.1)	2.8	16.1	0			
(2) %			(3.6)	(4.2)	8.1	0			
(3)									
上位成果指標		(1) %	36.7	42.5	50.0	55.0			
(2)									
(3)									

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

昭和15年、村立芽室診療所開設に伴い、医療機器等の購入整備が必要になった。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

開始時と比べ診療科が増え、外来患者・入院患者も増え、医療技術も日々進歩することからそれに伴い、医療機器の種類・保有台数が増え、機器の更新・修理・保守契約の数が増えている。

事務事業名	医療業務用品購入事務	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望		<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない <p>この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか</p>		
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記				
評価の部(See) → 28年度実績からみた評価				
目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 公立芽室病院の維持管理は、総合的な医療体制の整備に必要不可欠なものである。また地域医療の確保にも貢献している。	
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 高齢化が進むなかで通院手段のない人たちにとっては、設備の整った診療施設は安心・安全の上でも重要。	
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 安定的な医療体制の確保により、患者数の増加につながる。	
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 医療機器の購入整備は、外来患者・入院患者・処置・治療・検査には、必要不可欠なものである。	
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 公立芽室病院には、内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・放射線科・人工透析科があり、多種多様の機器が設置されているなかで、その機器の修理・更新などの整備は診療体制を確保していくために欠かせないものである。	
	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 健康保険法により保険点数が決まっている。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

28年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																										
		現状維持		2.改革・改善による期待成果																								
	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的に医療機器を更新していくとともに、医療機器のメンテナンスに意を用い、既存の医療機器の長寿命化に努める。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下				
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
29年度以降の取組	医療機器の状況及び管内病院の機器保有状況の情報を仕入れ、機器安全委員会で充分な検討を重ね整備計画を立てる。また、機器の丁寧な使用に配慮し、長寿命化を進める。																											

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		医療機器等整備事業			事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで	
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野邦彦			担当者名内線番号	佐藤文彦 内線(531)		
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	3	収益的	
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				病院事業	1	1	6	収益的	
法令根拠		-									

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)

医療機器安全管理委員会で検討し購入、あわせて保守管理も進めていく。

2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

外来患者・入院患者

3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

外来患者・入院患者が、機器を使用し、より良い処置・治療・手術・検査等を受けることが出来る。

4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

外来患者・入院患者が、検査結果を知ることが出来、また病気の治癒につなげることが出来る。また病気が発見された時は、治療につながる。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 医療機器の金額	円
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 年間入院患者数	人
② 年間外来患者数	人
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 入院患者数前年対比	%
② 外来患者数前年対比	%
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	334,597,047	127,526,429	145,308,000	145,308,000			
	事業費計(A)	円	334,597,047	127,526,429	145,308,000	145,308,000			
	正職員従事人数	人							
	人工数(業務量)	年間	0.2493	0.1623					
人 件 費	人件費計(B)	円	2,025,104	1,337,283					
	トータルコスト(A)+(B)	円	336,622,151	128,863,712	145,308,000	145,308,000			
活動指標		(1)	円	334,597,047	127,526,429	145,308,000	145,308,000		
		(2)							
		(3)							
対象指標		(1)	人	33,669	34,616	40,187	40,187		
		(2)	人	82,314	78,876	85,279	85,279		
成果指標		(1)	%	(18.1)	2.8	16.1	0		
		(2)	%	(3.6)	(4.2)	8.1	0		
上位成果指標		(1)	%	36.7	42.5	50.0	55.0		
		(2)							
		(3)							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景

昭和15年、村立芽室診療所開設に伴い、医療機器等の購入整備が必要になった。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

開始時と比べ診療科が増え、外来患者・入院患者も増え、医療技術も日々進歩することからそれに伴い、医療機器の種類・保有台数が増え、機器の更新・修理・保守契約の数が増えている。

事務事業名	医療機器等整備事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】		<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない	

この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 公立芽室病院の維持管理は、総合的な医療体制の整備に必要不可欠なものである。また地域医療の確保にも貢献している。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 高齢化が進むなかで通院手段のない人たちにとっては、設備の整った診療施設は安心・安全の上でも重要。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 安定的な医療体制の確保により、患者数の増加につながる。
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 医療機器の購入整備は、外来患者・入院患者・処置・治療・検査には、必要不可欠なものである。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 公立芽室病院には、内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・放射線科・人工透析科があり、多種多様の機器が設置されているなかで、その機器の修理・更新などの整備は診療体制を確保していくために欠かせないものである。
	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 健康保険法により保険点数が決まっている。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

28年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																										
		現状維持		2.改革・改善による期待成果																								
28年度の取組	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的に医療機器を更新していくとともに、医療機器のメンテナンスに意を用い、既存の医療機器の長寿命化に努める。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下				
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
29年度以降の取組	医療機器の状況及び管内病院の機器保有状況の情報を仕入れ、機器安全委員会で充分な検討を重ね整備計画を立てる。また、機器の丁寧な使用に配慮し、長寿命化を進める。																											
※町民等の意見・要望に対する検討結果																												